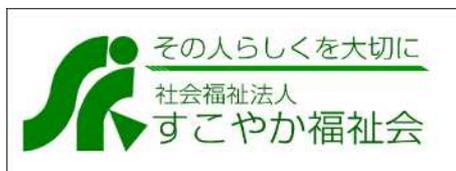


すこやか福祉会 2020年度事業活動報告

2021年6月28日
社会福祉法人すこやか福祉会評議員会



1. 法人概要

■法人設立の目的・趣旨・経営方針

社会福祉法人すこやか福祉会の設立は、四ツ木診療所（医療法人健和会）の職員保育所として出発した無認可保育所「竹の子保育所」と同じく無認可保育所の「東金町保育園」が一緒になって認可保育園開設にむけて取り組み、「産休明けから預かる保育園を」と願う若い親たちと働きつづけることの大切さを感じ取っていた地域住民の方々の協力で葛飾区東金町に開設した「こぼとの森保育園」が原点です。

1998年（平成10年）2月に社会福祉法人の認可を得て今年で23年を迎え、運営する事業所数はこの数年で介護人材不足による事業所閉鎖が数ヶ所あり44ヶ所（2021年6月現在：分室・サテライト含む）となりました。

法人設立から今日に至るまで、私たちは一貫して「安心して住みなれた地域に住み続けられること」をめざして、医療法人（健和会、健愛会、南葛勤医協、アカシア会）や学校法人（東都医療福祉学院）、特定非営利活動法人（たんぼぼ会、三郷おあしす会）など東都保健医療福祉協議会を構成する多くの法人との連携を強め、医療と福祉のネットワークづくりに努力してきました。また、社会福祉法人のもつ高い公共性から社会貢献をめざし、子どもからお年よりまで病気であっても障がいを持っていても、安心してすこやかな生活をおくることのできる福祉サービスを提供できるよう事業活動を展開してきました。

「法人の基本理念」に沿って、これからも福祉サービスを必要とする人々が、社会、経済、文化その他のあらゆる活動に参加する機会を得ることができるよう、総合的で質のよいサービスの提供をめざします。

すこやか福祉会の理念

1. 私たちは、命と人権をなによりも大切にします。福祉・介護サービスの提供にあたって、自立支援を重視し、安全に努め、その人らしく生きていくことを支援します。
2. 私たちは、国内外の福祉・介護サービスの実践と研究の成果に学び、サービス内容の改善充実に努めるとともに、病気や障害をもつ人々の生き方に共感し、ともに学び成長する職員の育成に努めます。
3. 私たちは、公共性の高い非営利の事業体として、事業内容の透明性を高め、情報の公開と共有を基礎に、民主的な運営と健全な経営に努めます。また、職員がやり甲斐と生きがいをもって生き生きと働きつづけられる職場づくりをめざします。
4. 私たちは、保健・医療・福祉の充実と地域に根ざしたネットワークづくりに努めるとともに、地域住民と交流を深め、理解と参加・協力を得るよう努めます。また、人間が大事にされ、安心して暮らし続けられる地域づくりに貢献していきます。
5. 私たちは、地域の子どもの成長発達を守り、保護者と共同で、ひとり一人を大切にその子らしく生きる力を育むことを支援します。

■法人設立 1998年（平成10年）2月27日

■本部所在地 〒125-0051 東京都葛飾区新宿三丁目4番10号

■実施事業
 第一種社会福祉事業 特別養護老人ホーム、都市型軽費老人ホーム
 第二種社会福祉事業 保育所、放課後児童健全育成事業、一時預かり事業
 通所介護、認知症対応型共同生活介護、訪問介護
 障害者福祉サービス事業、移動支援事業、短期入所
 小規模多機能型居宅介護
 公益事業 居宅介護支援、グループリビング、地域包括支援センター

2. 事業概要

■事業地域 東京都（葛飾区・足立区・墨田区・港区・江戸川区・江東区）埼玉県（三郷市・八潮市）

■事業規模 年間収入 約33億8400万円（2020年度）

■事業所数の推移（各年度末時点）

	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
保育園	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	3	3	3
学童保育					1	2	2	2	3	3	4	4	4	3	3	3	3	4	4	4	4
特養ホーム		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
通所介護		1	2	3	5	6	9	9	9	9	9	9	8	8	6	8	8	8	8	8	7
訪問介護					1	2	13	13	12	13	13	13	13	13	13	17	15	15	15	13	12
訪問入浴							1	1	1	1	1	1	1								
GH		1	1	1	4	6	6	6	6	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
認知症デイ							1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
小多機								2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
看多機												1	1	1	1	1	1				
居宅支援						1	1	1	1	1	2	2	3	3	4	4	4	3	2	2	2
地域包括									1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
訪看ST													1	1	1	1	1	1			
ケアハウス													1	1	1	1	1	1	1	1	1
GL						1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1
合計	1	4	5	6	13	20	36	36	40	41	46	46	49	49	47	53	51	51	48	46	44

*地域包括支援センター分室・訪問介護サテライト営業所も1事業所としてカウント

■2020 年度開設事業所（なし）

■2020 年度閉鎖事業所（2ヶ所）

○かばらデイサービスセンター（通所介護） 2020 年 6 月 30 日閉鎖

○ファミリーケアみたて芝営業所（訪問介護） 2021 年 3 月 31 日閉鎖

■職員数 706.3 名（2020 年度月平均）

年度末時点	2020 年度	2019 年度	前年差	前年比	2018 年度	2017 年度	2016 年度
職員数合計	696.0	718.0	▲22.0	96.9%	746.0	734.0	727.7
（常勤職員）	252.0	265.0	▲13.0	95.1%	264.0	253.0	244.0
（非常勤職員）	444.0	453.0	▲9.0	98.0%	482.0	481.0	482.9
※常勤換算	496.3	522.8	▲26.5	94.9%	529.3	518.8	542.0
離職率	13.9%	14.8%	▲0.9%	93.9%	14.5%		
離職率：介護	13.2%	14.3%	▲1.1%	92.3%	14.3%	13.8%	15.4%
離職率：保育	16.7%	16.9%	▲0.2%	98.8%	17.3%		

3. 2020 年度の運営概要

■法人役員（2021 年 3 月 31 日現在）

理事 6 名（定数 6～8 名）
 理事長 中山 美千代
 常務理事 菊地 雅彦（業務執行理事）
 理事 天野 義久：特別養護老人ホーム葛飾やすらぎの郷施設長
 新井 敦子：軽費老人ホームケアハウスかねがふち施設長
 石井 良子：保育事業部長
 小笠原 光雄：葛飾健康友の会事務局長
 監事 2 名（定数 2～3 名）
 監事 畑中 大吾：社会福祉法人東京さくら福祉会常務理事
 渡邊 史朗：東都保健医療福祉協議会事務局次長

■評議員（2021 年 3 月 31 日現在）

評議員 9 名（定数 7～9 名）
 阿部 孝史：医療法人社団はたがや協立会常務理事
 伊藤 俊夫：すこやか福祉会を支援する会会長
 入江 徹：社会福祉法人いきいき福祉会理事
 佐々木 史子：社会福祉法人なの花会理事長
 対馬 眞代：こぼとの森保育園保護者OB
 中野 三代子：一般社団法人幸樹会代表理事
 堀口 千恵子：社会福祉法人ねりま共育ちの会副理事長
 三井 亨：社会福祉法人三多摩福祉会常務理事
 横山 直城：城南保健生活協同組合専務理事

■評議員会の開催（2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日）

定時評議員会 6 月 17 日（水） 書面同意議決（評議員 9 人全員同意）
 議題 2019 年度事業活動報告、2019 年度計算書類報告、会計監査人及び監事監査報告
 資産登記の変更、役員（理事）の選任
 臨時評議員会 1 月 23 日（土） 書面同意議決（評議員 9 人全員同意）
 議題 定款一部変更
 臨時評議員会 3 月 23 日（火） 書面同意議決（評議員 9 人全員同意）
 議題 2020 年度補正予算、2021 年度事業活動計画、2021 年度予算
 すこやか福祉会第 2 次 5 カ年計画

■理事会の開催（2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日） 8 回開催（定時：6 回、臨時：1 回）

第 1 回定時 5 月 1 日（金） 書面同意議決（理事 6 人全員同意）

	議題	設備投資・備品購入、管理者人事 三郷市介護施設整備費補助金に係る財産処分完了に伴う返還金
第2回臨時	6月2日(火)	9:30~11:15、千住曙共同会館1階会議室(6人全員出席)
	議題	2019年度事業活動報告、2019年度計算書類報告、会計監査人及び監事監査報告 資産登記の変更、役員(理事)の選任、管理者人事、設備投資・備品購入 2020年度第2次予算、夏期一時金回答・支給額、夏期一時金の金融機関借入 貸金規程改定、福祉医療機構福祉貸付事業借入の件
第3回定時	7月1日(水)	9:30~11:00、千住曙共同会館1階会議室(6人全員出席)
	議題	管理者人事、設備投資・備品購入、福祉医療機構からの緊急融資の件 こぼとの森保育園隣地購入の件、新型コロナウイルスに係る報酬上の取り扱いの件
第4回定時	9月2日(水)	9:30~10:45、千住曙共同会館3階会議室(6人中5人出席)
	議題	設備投資・備品購入、管理者人事、公式イメージキャラクター
第5回定時	11月4日(水)	9:30~10:40、千住曙共同会館1階会議室(6人全員出席)
	議題	設備投資・備品購入及び関連補助金報告、年末一時金回答・支給額 年末一時金の金融機関借入、特養大規模修繕工事に伴う設計事務所選定 保育事業部就業規則改定、テレワーク就業規則(在宅勤務規程)制定
第6回定時	1月6日(水)	9:30~11:10、千住曙共同会館1階会議室(6人全員出席)
	議題	管理者人事、設備投資・備品購入、定款一部変更に伴う臨時評議員会開催の件 葛飾やすらぎの郷大規模改修工事計画及び基本設計契約の件 FCみたて芝営業所立ち退きに伴う営業所閉鎖の件 法人合併検討プロジェクトの開催、第2次5カ年計画、2021年度予算編成方針
第7回定時	3月3日(水)	9:30~11:50、千住曙共同会館1階会議室(6人全員出席)
	議題	管理者人事、設備投資・備品購入、2020年度経営報告と2020年度補正予算承認 2021年度事業計画、2021年度第1次予算、すこやか福祉会第2次5カ年計画 定款施行細則一部変更、経理規程一部改定、デイかねがふち事業業種変更 GH福さん家土地建物購入及び購入資金借入 保育園3園の保育所施設整備積立金計上、2021年春闘要求回答 臨時評議員会決議の省略の件、評議員選任・解任委員の選任 外国人留学生の東社協就学資金借入に関する法人保証及び留学生家賃補助

■会計監査人<協働公認会計士共同事務所>往査の状況(2020年4月1日~2021年3月31日)

往査日				往査場所	監査実施内容
2020	4	24	金	本部事務局	期末監査
2020	6	1	月	本部事務局	期末監査
2020	9	25	金	FCみさと北	統制評価(小口現金、事業未収金、支払管理、その他)
2020	10	9	金	葛飾やすらぎの郷	統制評価(小口現金、事業未収金、支払管理、その他)
2020	10	20	火	本部事務局	中間決算概況把握 統制評価(固定資産管理、職務分掌・稟議書閲覧、運用テスト)
2021	1	18	月	すこやかの家みたて	統制評価(小口現金、事業未収金、支払管理、その他)
2021	3	11	木	本部事務局	決算前打ち合わせ、監査指摘事項フォロー等 寄附金管理、本部統制評価のフォロー、運用テスト

■監事監査の開催(2020年4月1日~2021年3月31日) 1回開催(監事2人全員出席)

6月1日(月) 13:00~13:30、千住曙共同会館3階面談室

■苦情対応第三者委員会の開催(2020年4月1日~2021年3月31日) 未開催

■評議員選任・解任委員の開催(2020年4月1日~2021年3月31日) 未開催

4. 2020年度事業活動のまとめ

2020年度は新型コロナウイルス感染症とのたたかいと対応に終始した1年間でした。すこやか福祉会の事業所でもこの1年間で休業・休園を余儀なくされたところが複数ヶ所（デイなごみ、デイかなまち、デイみたて、野のはな保育園など）ありました。このパンデミックはいまだ終息の兆しが見えず、多くの職員や家族を疲弊させています。しかし、この1年間に私たちが経験したことは、私たちの将来を展望する上で、さまざまな教訓をもたらしました。



介護や保育などの福祉分野は、国の政策によって大きく影響を受け、いのちや人権を守るためには政治のあり方こそが問われることなどが、現場で体験的に可視化され、多くの職員の強い認識になったことは重要です。また、新型コロナウイルス感染症は、人は誰もが生きていく上で他者のケアを必要とする存在であり、ケアが社会を維持するために不可欠なものであることを示しました。同時に、エッセンシャルワーカー（ケア階級）とも称される福祉の担い手の重要性とその処遇が低くとどめ置かれている現実を明らかにしました。ケアが大切にされる社会をめざすために、さまざまな共同をできる限り広げていきましょう。

「入所者が事故で亡くなったら介助者が刑事責任まで負わなければならないのか」准看護師が業務上過失致死罪に問われ、一審で有罪判決になった長野県の特別養護老人ホームあずみの里での死亡事故で、東京高裁は2020年7月28日に逆転無罪判決を言い渡し、その後検察は上告を断念しました。この事故により、介護現場が委縮し、サービスの質が低下するとの声が上がリ、無罪判決を求める署名が全国から約73万筆も集まりました。高齢者施設はさまざまなリスクと隣り合わせです。通常の仕事をしていたのに、結果の重大さゆえに個人が罪に問われるようなことになれば、介護に関わる職員のなり手がなくなってしまいます。ただでさえ、介護の現場は深刻な人手不足が続いています。また、施設が手のかかる人は受け入れられないという事態を招きかねません。老後を送る人たちの生きがいを尊重しながら、安全を守る仕組みを考えていく必要があります。

2020年度は第1次5カ年計画（2015～2019年度）と第2次5カ年計画（AreaMovement2025：2021～2025年度）の狭間の1年です。この1年間という時間を使ってすべてのエリア・事業部で新たな課題設定に取り組みました。この間、大きく前進した面もありましたが、新型コロナウイルス感染症とのたたかいと対応や人材不足、制度改悪の影響で一進一退の状況であるのも事実です。私たちの現在の到達点に確信を持ち、民医連の社会福祉法人としての使命を貫き、次代を切り開く経営体質づくりを進めていくことが重点課題です。

①「全職員参加の経営」による困難克服と次代を切り開く安定した経営体質づくり

○第2次期5カ年計画（AreaMovement2025：2021～2025年度）の策定

2020年度1年間をかけてすべてのエリア・事業部で新たな課題設定に取り組みました。5年後の将来像を見据えて取り組むべき課題が明確になりました。しかし、まだ議論不足な点も散見されますので、活動しながら修正し、よりよい未来像に近づけるよう取り組んでいきます。

○計画的・継続的に事業を管理・遂行できる経営体質づくりと組織統治（ガバナンス）の確立

社会福祉事業経営は費用の大部分を人件費が占める構造のため、文字通り職員の働き方と意欲に左右されます。そのため、法人理念を理解し、経営を守る視点も踏まえた管理・マネジメントを担う管理者の役割・配置が重要です。しかし、2020年度は新型コロナウイルス感染症とのたたかいと対応に終始した1年間でした。そのため今年度は災害対策としての「事業継続計画」の重要性は理解しつつも作成には至りませんでした。早急に危機管理対策や感染対策の具体化と対応が必要です。

こばとの森保育園開設の際から課題となっていた災害時の二方向避難通路の確保目的で隣地を7月に購入しました。また、GH福さん家の土地・借地権・建物を購入（2021年4月購入）するなど、将

来的に安定した事業運営に向けての基盤をつくることができました。

○エリア事業部制の浸透と他法人との連携・交流

2017年10月にエリア事業部制に移行して2021年3月末で3年半が経過し、内外的に浸透してきました。サブマネジャーの任務やコンプライアンスマネジャーとの連携など未整備な部分は残っていますが、着実に前進しています。2021年度当初に多数の幹部職員の任務交代を行い、新たな人材の活躍の場を提供しました。

協議会外の他法人との連携では、特養増床新築に向けた社会福祉法人小鳩会との連携が始まり定期協議や運営面での提案、幹部の出向支援を行うところまで進んでいます。また、社会福祉法人東京さくら福祉会とは将来的な展開を視野に交流を開始しました。

○不採算事業所などの経営対策への迅速な対応と新たな課題

2020年度は、地域実態の変化などにより急速に経営悪化したかばらデイサービスセンターを6月末に閉鎖し、また、立ち退きのためファミリーケアみたて芝営業所を2021年3月末に閉鎖しました。ただ、閉鎖の連鎖は将来的には展望が見えなくなるため、新たな事業展開へとギアの入替えが必要です。通所介護事業所の2年続けての経営悪化はどのエリアでも課題であり、迅速な経営対策が急務の課題です。

保育分野では、0歳児や幼稚園転園による3歳児の定員割れ、野のはな保育園での開園以来続いている定員割れ、保育事業部での人材紹介会社を使つての人材確保など、保育事業部での経営対策の必要性が浮き彫りになりました。



②法人運営の新たな段階をめざすために、経営改善のリーダーシップを発揮する幹部の育成

○新たな経営幹部を養成し、第2次中期5カ年計画を担う世代への交代を図る

2021年度に他法人への出向人事があり、また第2次5カ年計画を実践するために、年度末に多数の人事異動を行い現場からの大胆な登用を行いました。

○組織ラインの整備

2020年度では実現できませんでしたが、2021年4月に整備を行いました。

○法人内外の研修への積極的参加と伝達講習の実施

2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、法人内外の研修は悉く中止になるか、オンラインでの研修となりました。当初の方針とは違う課題となり、研修の形も様変わりしました。今後は「コロナ前」に戻れる保証はなく「withコロナ」での違った形での対応が求められます。

③社会福祉法人としての求められる役割実践と平和や社会保障拡充、環境問題等の取り組み

○地域における公益的取り組み

地域や子育て相談支援や地域交流の場の提供や地域行事への参加、災害時の非難支援、施設の一部や園庭の解放、研修会の実施や職員の講師派遣、認知症や介護予防講座の実施、利用者負担軽減や生活困窮者への支援など多くの目標を設定しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響でそのほとんどが中止となりました。金町での子ども食堂「カフェひろば」も定着してきたところだったので、年度後半に弁当配付活動にとどまりました。

葛飾区では青戸地域と四つ木地域でNPO法人と協力して高齢者サロンづくりに向けて取り組みを開始しました。2021年度の早い段階での開設をめざして現在準備を進めています。

○金のあるなしで差別されないための取り組み（法人独自減免制度の活用や住まい支援、福祉相談等）

ソーシャルワークの視点を持った取り組みが課題ですが、新たな展開を作り出すまでには至りませんでした。また、法人独自減免制度の活用はほとんど広がりませんでした。今後の活動に大いに期待するところですが、福祉（介護・保育）相談に結び付けることができるような職員の「目とこまえ」が重要な課題です。

○様々な事例から学び、地区協等に結集し、制度改善＋報酬改善＋処遇改善に結びつける取り組み

日常の実践の中での「気づき」を大切に、利用者・園児などを守るために要求化を行ってきました。全体としては取り組みが弱かった部分もありましたが、「介護ウェブ署名」や「特養あずみの里裁判署名」「乳腺外科医冤罪事件」に全事業所で取り組むことができました。

○地球環境対策として、仕事や生活が環境に与える影響を検証し、負荷軽減に結び付ける取り組み

第2次5カ年計画にSDGsを取り入れて、身近な分野から地球規模に及ぶことまでを対象に学んで実践に取り組みました。

④様々な関連法規・対策課題を学び、良質かつ適切な福祉サービスの提供と取り組むべき課題

○関連法令や社会的ルールの遵守などコンプライアンス教育の徹底と体制の構築、マニュアルの策定

法令遵守委員会を毎月開催し、日常的に整備を進めることができました。各サービス事業のコンプライアンス・サービス向上委員会も定期開催しましたが、エリアとのかかわりでの整備が課題となっているため、次年度に改善をめざします。

○日常的なリスクマネジメントと重大事故が起こった際の対応ルールの確立、リスクマネジャーの配置

経営協の「上級リスクマネジャー養成講座」に3名参加しました。福祉サービスでのリスクマネジメントは、利用者満足度の向上や利用者の安心と安全を守る適切なサービス提供を実現することが目的です。万一の事故の際もすばやく適切な要因分析や手順改善等の対応ができるリスクマネジャー配置に向けた第1歩となりました。

○法人・エリア・事業所での事業継続計画（BCP）の作成

今年度は災害対策としての「事業継続計画」の重要性は理解しつつも作成には至りませんでした。早急に危機管理対策や感染対策の具体化と対応が必要です。また、新たに感染症対策としてのBCPの作成も課題です。

⑤活動実践の原点である「職場づくり」と事業活動を担う人材の確保

○私たちの事業の成否がかかる良質な人材の確保と育成



人材確保は前年度に引き続き厳しい1年でした。保育事業部での採用委員会の活動が本格化してきましたが、依然人材紹介会社経由での中途採用が中心となっており採用委員会の取り組み強化が求められます。介護事業では年度途中の8月から派遣職員を0名にすることができ、採用経費を大幅にダウンすることができました。離職率はこの間の職場づくり等の取り組みの中で一定レベルを増減していますが、大幅に下げることができず人材不足は続いています。

今年度は介護留学生2名を受け入れて昨年度受け入れた学業保障生と合わせて計5名となりましたが、昨年度受け入れた学業保障生3名のうち2名が2021年度入職に至りませんでした。学業保障生の制度についての再考が必要です。2021年4月入学予定の外国人留学生1名の受け入れを決め、その準備を足墨エリアが中心となって進めました。新卒採用は、目標数を達成することがこの数年達成できていない状況です。コロナ禍で介護職養成施設への働きかけや実習受け入れが予定通り進まなかったことが影響していますが「高校生オンライン介護体験」など新たな取り組みを開始しています。引き続き目標達成に向けて取り組みます。

○「効率化」の視点から現在の業務の流れを見直し、生産性の向上に向けた省力化対策

人材不足を補い省力化のためにさらなるICT化を進め、今年度はすべての事業所で新システム導入に向けて開始しました。ICTの導入はやり方によっては積極的な意味がありますが、「効率化」を進めるための生産性の向上という方向がすべて正しい方向とは思えません。ICT等の先端技術を利用した介護や保育という福祉の効率化、標準化、「科学的介護」の動向などからは、人々の人権を解体し「自立」や「自助」を求め、社会保障費抑制を命題とする政治的文脈の中で提案され実行に移されていることには注意が必要です。

⑥経営戦略・人材戦略の一環としての広報PR活動、ブランド戦略の具体化

○広報委員会を強化し、さまざまな媒体を活用した広報PR活動

日々の取り組みを収集して、SNSでの定期発信や法人ホームページ・採用ホームページの定期的な更新を行うことができた。また、YouTubeチャンネルを活用して、広報アピール活動や地域貢献活動、事業所紹介などを行いさまざまなところで反響があった。

○広報紙「すみなれたまちで」の徹底した活用と送付先の拡大

「すみなれたまちで」の定期発行を継続して行い、送付先の拡大等によるアピール活動の強化を進めることができた。しかし、さらなる活用をめざして、他法人の取り組み・活用方法などを参考に再検討していくことが必要です。

5. 2020年度研究発表・研修講演活動及び取材・記事掲載

①研究発表・研修講演活動

- 東洋大学ライフデザイン学部「生活支援技術IX」講師：6月2日
「サービス提供責任者の仕事について」 F C たかの 沼尻 真澄
- オレンジカフェ福はうち：8月27日
「フットケア」 小多機葛西みなみ 浅野 ミサ
安井 慶太
- 読売理工療福祉専門学校：9月30日
「訪問介護について」 F C みさと 猪瀬 茜
- 毎日新聞社生活の窓口主催シニアライフカウンセラー養成講座：10月24日
「超高齢社会の将来展望、介護保険の基礎知識」 地域包括青戸 新美 育子
- 東京民医連第2回介護事業所法令遵守学習会：10月29日
「これからの実地指導・監査対策のポイント～実地指導の標準化・効率化等の運用指針」
本部事務局次長 中村 寛史
- 2020年度葛飾やすらぎの郷職員全体集会：10月30日
「看取りケアからの学び」 葛飾やすらぎの郷 奥村 徹
「やすらぎの郷での学習会の取り組み」 葛飾やすらぎの郷 大森 正樹
「自ら歩行しふらつき転倒する」 葛飾やすらぎの郷 永田 哲也
- 地域理学療法学会パネルディスカッション：11月7日
「地域理学療法学の展開と連携における主眼点～埼玉県三郷市での実践事例～」
F C みさと 猪瀬 茜
- 2020年東都協議会介護活動交流集会：11月20日
「自ら歩行しふらつき転倒する」 葛飾やすらぎの郷 永田 哲也
「新たな取り組みのその先」 GHみたて 田中 俊祐
「挑戦をあきらめていませんか？」 小多機葛西みなみ 上野 康明
- 2020年度東都協議会役員・評議員・管理者合同集会：11月28日
「2021年度介護報酬改定とすこやか福祉会第2次5カ年計画」
常務理事 菊地 雅彦
- 全日本民医連介護・福祉責任者会議：12月11日
「新型コロナウイルス感染対応と対策」 葛飾AM 江川 慎吾
- 東京民医連2020年度介護経営検討会（施設系）：1月23日
基調報告「介護事業における経営課題」 常務理事 菊地 雅彦
「馬渡さん家の経営改善への取り組み」 小多機馬渡さん家 佐藤 淑子
- 東京民医連2020年度介護経営検討会（在宅系）：1月30日
基調報告「介護事業における経営課題」 常務理事 菊地 雅彦
「デイサービスの常識をゼロにして～在宅で生活続ける身体機能の追求～」
デイ采女の里 吉井 暁
- 東都協議会事務活動交流集会：2月13日
「コロナ禍におけるYouTube（動画）を活用した経営改善」 本部事務局次長 中村 寛史
- 東部東葛ブロック第16回医療福祉活動交流集会：2月20日
「『動きたくない』の意味 リラックスがもたらすもの」 デイ采女の里 吉井 暁
「新たな取り組みのその先」 GHみたて 田中 俊祐
「逆境に立ち向かう新たなチャレンジの実践」 デイみたて 中野 一仁

- 全日本民医連社会福祉法人専務・事務局長・施設長会議：2月26日
「コロナ禍におけるYouTube（動画）を活用した経営改善」本部事務局次長 中村 寛史
- 江戸川区介護者交流会：3月6日
「小規模多機能型サービスってご存じですか？」 小多機葛西みなみ 上野 康明
- 東都協議会看護活動交流集会：3月13日
「通所介護における新型コロナウイルス感染対策の取り組み」
新宿デイ 小笠原 麻子
- ②取材・記事掲載**
- 民医連新聞 4月6日 「いのち守る現場に支援いますぐ」 デイなごみ 玉城 志奈子
FCみさと 猪瀬 茜
- 朝日新聞 4月9日 「命預かる施設 迫られる判断」 常務理事 菊地 雅彦
- 地域包括支援センター千寿の郷ニュースレター2020年春号 「熱中症予防」
FC柳原
- 民医連新聞 5月4日 「自宅でできる簡単体操」 湾岸AM 中野 一仁
- 下町の健康 5月25日 どうなる医療と介護 介護保険制度施行から20年
「担い手の確保がカギ」 常務理事 菊地 雅彦
- しんぶん赤旗日曜版 5月31日 介護崩壊の危険 職員「自分が感染源になるかも」
デイなごみ 玉城 志奈子
FCみさと 猪瀬 茜
菊地 淳子
- 法と民主主義 6月号 「コロナ禍で『介護崩壊』の危機に瀕する在宅介護の状況」
常務理事 菊地 雅彦
- 協議会だより 6月号 加盟法人の2020年度活動方針ポイント集
「第2次5カ年計画の策定を柱に」 常務理事 菊地 雅彦
- 民医連新聞 7月6日 「国の責任で医療介護支援を 各会派の国会議員に緊急要請」
常務理事 菊地 雅彦
- 月間ゆたかなくらし 7月号 「コロナ感染症とたたかう～ご家族面会について」
葛飾やすらぎの郷 天野 義久
- 協議会だより 7月号 「新型コロナウイルス感染症で利用者のおかれている状況」
湾岸AM 中野 一仁
- 健康のひろば 7月号 「新型コロナで介護現場はどうなっているの？」
小多機馬渡さん家 佐藤 淑子
FCたかの 山本 洋子
デイなごみ 玉城 志奈子
- NHKニュースウォッチ9 7月27日 「ドーナツ裁判 介護現場のおやつに異変」
葛飾やすらぎの郷 天野 義久
木下 万誠
- 朝日新聞 7月29日 「特養死亡無罪判決 介護現場の萎縮免れた」
葛飾やすらぎの郷 天野 義久
- 読売新聞 7月29日 「家族頼れず「制度外」負担深刻」 FC大島 高橋 薫
- しんぶん赤旗 8月8日 「あずみの里裁判 『上告やめよ』は現場の声」
湾岸AM 中野 一仁
- いつでも元気 8月号 「家にあるもので健康体操」 湾岸AM 中野 一仁
- 協議会だより 8月号 「特養あずみの里 逆転無罪！」 葛飾やすらぎの郷 天野 義久
「憲法のありがたみを知ること」 本部事務局 堀 竜輔
- 民医連新聞 8月17日 「あずみの里裁判 無罪が確定」 湾岸AM 中野 一仁
- 協議会だより 9月号 江東五区の大水害にどう備えるか「的確な対応は、選択肢を複数持つこと」

- 葛飾AM 江川 慎吾
- 江東五区の大被害にどう備えるか「台風に備える～ある自治会の独自の取り組みから～」
地域包括青戸亀有分室 塚田 望
奮闘が続く、すこやか福祉会の保育園・学童保育
- 野のはな保育園 佐藤 真也
金町学童保育クラブ 近藤 永都子
おおぜ学童保育所 松岡 愛子
FCみさと 猪瀬 茜
- みんないれん TOKYO 10月5日 「コロナ禍の深刻な実態」
- WEB カイゴジョブ法人インタビュー 10月12日 『若手職員による「魅力発信委員会」を発足！SNS強化やYouTube 配信で求職者への認知度アップ』
本部事務局次長 中村 寛史
- 民医連東京共済 11月1日 子年生まれの仲間
葛飾やすらぎの郷 フィン ティ キムガソ
奈良 みゆき
- 月間ゆたかなくらし 12月号 「あずみの里裁判高裁勝訴判決を受けて」
葛飾やすらぎの郷 天野 義久
- 協議会たより 12月号 「コロナ禍のデメリットを発想の転換で」
湾岸AM 中野 一仁
「新たな取り組みのその先」 GHみたて 田中 俊祐
- 下町の健康 1月25日 「利用者に寄り添い福祉本来のやりがい」
理事長 中山 美千代
- 協議会たより 1月号 「理念の大切さを受け止めて」 埼玉AM 落合 直人
おすすめの1冊「ホセ・ムヒカが考える“本当の豊かさ”とは」
FCたかの 沼尻 真澄
- オンライン活動報告会 認定NPO法人プラチナ美容塾インタビュー出演 2月6日
「リモートボランティア活動」 デイみたて 湯田 達也
- みんないれん TOKYO 3月5日 「介護分野の経営検討会に200人 介護報酬改定の内容学ぶ」
- WEB 東京都高齢者福祉施設協議会 東京の介護ってすばらしいグランプリ（動画部門）【優秀賞】
3月26日 「裸足」で活動するデイサービスの取り組み デイかなまち
- WEB 東京都高齢者福祉施設協議会 東京の介護ってすばらしいグランプリ（メッセージ部門）【優秀賞】
3月26日 「不幸って思いこんでない」 GH青戸 紙屋 友信
- GakkenPaprika 2021年夏号（2020年度取材）「食べる楽しさ発見！食育とあそび」
八潮かえで保育園

6. 法人の沿革

- 1998年 2月 社会福祉法人すこやか福祉会 法人認可
※初代理事長：内村 逸郎（初代常務理事：深沢 大三）
- 4月 こばとの森保育園（定員65名）開園（葛飾区東水元）
- 1999年 7月 特養ホーム等高齢者施設づくりをすすめる会 発足
※のちの、すこやか福祉会を支援する会
- 2001年 4月 こばとの森保育園 増築（定員80名）
特別養護老人ホーム葛飾やすらぎの郷 開設（葛飾区新宿）
（定員：入所80名、ショートステイ16名）
特養併設新宿在宅サービスセンター（定員20名）開設（葛飾区新宿）
- 5月 グループホーム福さん家 開設（墨田区吾妻橋）定員9名
- 2002年 8月 かばらデイサービスセンター 開設（足立区東和）定員30名
※医療福祉複合施設（医科・歯科診療所併設）
- 2003年 3月 ※理事長交代 第2代：増子 忠道（常務理事交代：竹森 チヤ子）
- 5月 在宅サービスセンター葛西 開設（江戸川区南葛西）定員15名

- ※医療福祉複合施設（医科診療所併設）
- 2004年
- 1月 あおと福祉の家 開設（葛飾区青戸） ※福祉複合施設
 グループホーム青戸（定員18名）
 デイサービスセンターすこやか（定員30名）
 ファミリーケアすこやか：訪問介護 3事業所開設
- 4月 金町学童保育クラブ（定員57名） 開設（葛飾区東金町）
- 6月 グループホーム千住大川 開設（足立区千住大川） 定員18名
- 12月 かなまち福祉の家 開設（葛飾区東金町） ※福祉複合施設
 グループホームかなまち（定員9名）
 デイサービスセンターかなまち（定員30名） 2事業所開設
- 2005年
- 4月 つばさ学童保育クラブ（定員30名） 開設（葛飾区金町）
- 6月 ファミリーケア芝：訪問介護 開設（港区新橋）
- 9月 ケアサポートセンターみたて：居宅介護支援 開設（港区港南）
- 11月 グループホームかねがふち（定員9名） 開設（墨田区墨田）
 ※医療福祉複合施設（医科診療所併設）
- 2006年
- 1月 すこやかの家みたて 開設（港区港南） ※福祉複合施設
 グループホームみたて（定員18名）
 デイサービスセンターみたて（定員15名）
 高齢者グループリビングみたて：高齢者住宅（8室）
 ファミリーケアみたて：訪問介護 4事業所開設
 ケアサポートセンターみたて：居宅介護支援 移転
- 5月 ※理事長交代 第3代：竹森 チヤ子（常務理事交代：田制 昭平）
- 5月 東京都港区高齢者集合住宅生活援助員業務受託
- 8月 株式会社ファミリーケアから東京都内事業所運営移管により14事業所開設
 千住大川デイサービスセンター（定員30名）（足立区千住大川）
 デイサービスセンターかねがふち（定員30名）（墨田区墨田）
 デイサービスセンターなの花（定員30名）（江東区大島）
 ファミリーケア立石：訪問介護（葛飾区東立石）
 ファミリーケア北千住：訪問介護（足立区千住仲町）
 ファミリーケア柳原：訪問介護（足立区柳原）
 ファミリーケア西新井：訪問介護（足立区西新井栄町）
 ファミリーケア綾瀬：訪問介護（足立区東和）
 ファミリーケアすみだ：訪問介護（墨田区墨田）
 ファミリーケア新小岩：訪問介護（江戸川区松島）
 ファミリーケア葛西：訪問介護（江戸川区西葛西）
 ファミリーケア大島：訪問介護（江東区大島）
 ファミリーケア深川：訪問介護（江東区東陽町）
 ファミリーケア訪問入浴：訪問入浴介護（足立区千住大川）
- 12月 認知症デイサービスよりみち（定員11名） 開設（足立区柳原）
- 2007年
- 1月 広報紙「住みなれたまちで」創刊
- 7月 本部事務局移転（足立区千住曙町）
- 2008年
- 3月 こぼとの森保育園10周年記念誌「たからもの 子どもたちが豊かに育つために」発行
- 4月 地域包括支援センター青戸 開設（葛飾区青戸） ※高齢者総合相談センター青戸
- 4月 ファミリーケア花千寿：訪問介護 開設（足立区千住大川）
- 4月 よりみちの家 開設（足立区柳原） ※福祉複合施設
 小規模多機能サービスよりみちの家（定員18名）
 高齢者グループリビングよりみちの家：高齢者住宅（5室） 2事業所開設
 認知症デイサービスよりみち 移転（定員12名）

- 4月 小規模多機能サービス馬渡さん家（定員 18 名） 開設（三郷市鷹野）
- 4月 はやぶさ学童保育クラブ（定員 30 名） 開設（葛飾区金町）
- 4月 ファミリーケア立石：訪問介護 移転（葛飾区東立石）
- 5月 ファミリーケア水元公園：訪問介護 開設（葛飾区水元）
- 5月 （常務理事交代：菊地 雅彦）
- 2009年
- 1月 ファミリーケア深川：訪問介護 廃止 ※ファミリーケア大島に統合
- 1月 ファミリーケアすこやか：訪問介護 休止
- 2月 ファミリーケア花千寿：訪問介護 廃止 ※ファミリーケア北千住に統合
- 1 2月 ファミリーケアあおと（旧名称ファミリーケアすこやか）再開
- 2010年
- 4月 東金町小ひよどり学童保育クラブ（定員 50 名）開設（葛飾区東金町）
- 5月 あおと介護保険相談室：居宅介護支援 開設（葛飾区青戸）
- 5月 地域包括支援センター青戸 亀有分室 開設（葛飾区亀有）
※高齢者総合相談センター亀有
- 6月 ※理事長交代 第4代：中山 美千代
- 1 2月 業平医療福祉会館 開設（墨田区業平）
※医療福祉複合施設（医科診療所・訪問看護ステーション併設）
グループホームすこやかの家業平（定員 9 名）
小規模多機能サービスすこやかの家業平（定員 18 名） 2事業所開設
- 2011年
- 9月 葛飾やすらぎの郷開設 10 周年祝賀会
葛飾やすらぎの郷開設 10 周年記念誌「時代を拓く施設づくり」発行
- 2012年
- 2月 あおと介護保険相談室：居宅介護支援 移転（葛飾区青戸）
- 7月 介護相談室みずもと：居宅介護支援 開設（葛飾区水元）
- 1 1月 在宅サービスセンター葛西：通所介護 廃止 ※小規模多機能に事業転換
- 2013年
- 1月 小規模多機能サービスすこやかの家業平 廃止 ※複合型サービスに事業転換
- 2月 複合型サービスすこやかの家業平（定員 24 名） 開設（墨田区業平）
※小規模多機能サービスから事業転換
- 2月 すみれ訪問看護ステーション 開設（墨田区業平） ※健和会から譲渡
- 2月 すこやかの家かねがふち 開設（墨田区墨田） ※福祉複合施設
ケアハウスかねがふち（定員 20 名）：都市型軽費老人ホーム 開設
デイサービスセンターかねがふち 移転
ファミリーケアすみだ：訪問介護 移転
- 2月 小規模多機能サービス葛西みなみ（定員 25 名） 開設（江戸川区南葛西）
- 4月 八潮かえで保育園（定員 85 名） 開設（八潮市大瀬）
- 2014年
- 3月 金町学童保育クラブ 休止 ※建替えのため
- 7月 千住大川デイサービスセンター：通所介護 廃止
- 9月 ファミリーケア北千住：訪問介護 移転（足立区千住大川町）
- 1 2月 デイサービスセンターなの花：通所介護 廃止
- 2015年
- 2月 金町学童保育クラブ 再開
- 2月 はやぶさ学童保育クラブ 廃止 ※再開した金町学童保育クラブに統合
- 2月 特別養護老人ホーム葛飾やすらぎの郷 定員区分変更
（定員：入所 84 名、ショートステイ 12 名）
- 3月 介護相談室やなぎしま：居宅介護支援 開設（江東区業平）
- 3月 すこやか福祉会 5 ヶ年計画（2015 年～2019 年）策定
- 5月 ファミリーケア北千住：訪問介護 廃止 ※ファミリーケア柳原に統合
- 8月 高齢者総合相談センター亀有（地域包括支援センター青戸亀有分室）移転
（葛飾区亀有）
- 1 2月 株式会社ファミリーケアからの介護事業所運営移管により 7 事業所開設
デイサービスセンターなごみ（定員 30 名）（三郷市鷹野）

- デイサービスセンター采女の里（定員 33 名）（三郷市采女）
 ファミリーケアみさと：訪問介護（三郷市鷹野）
 ファミリーケア戸ヶ崎：訪問介護（三郷市戸ヶ崎）
 ファミリーケアみさと北：訪問介護（三郷市采女）
 ファミリーケア松戸：訪問介護（松戸市馬橋）
 ファミリーケア八潮：訪問介護（八潮市中央）
- 2016年**
 1 2月 ファミリーケア柳原：訪問介護 移転（足立区柳原）
 4月 ファミリーケア立石：訪問介護 廃止 ※翌月サテライト営業所開設
 4月 ファミリーケア芝：訪問介護 廃止 ※翌月サテライト営業所開設
 5月 ファミリーケアあおと 立石営業所 開設
 5月 ファミリーケアみたて 芝営業所 開設
 7月 ファミリーケア松戸：訪問介護 廃止
 9月 ファミリーケア西新井：訪問介護 廃止
- 2017年**
 3月 子ども食堂「カフェひろば」開始（葛飾区東金町）
 4月 おおぜ学童保育所（定員 80 名）開設（八潮市大瀬）※八潮市から指定管理者受託
 8月 ファミリーケア綾瀬：訪問介護 廃止 ※翌月サテライト営業所開設
 9月 ファミリーケア柳原 綾瀬営業所 開設
 9月 苦情対応第三者委員会スタート
 1 0月 介護事業部組織再編 サービス事業部制からエリア事業部制に再編
 葛飾エリア、足墨エリア、湾岸エリア、埼玉エリアの 4 つのエリアでスタート
- 2018年**
 1 2月 ファミリーケア大島：訪問介護 移転（江東区大島）
 3月 介護相談室みずもと：居宅介護支援 廃止 ※あおと介護保険相談室に統合
 3月 東京都港区高齢者集合住宅生活援助員業務 受託終了
 4月 野のはな保育園（定員 80 名） 開設（足立区西加平）
 4月 特別養護老人ホーム葛飾やすらぎの郷 定員区分変更
 （定員：入所 88 名、ショートステイ 8 名）
 4月 介護職員学業保障制度開始：2 名入職（千住介護福祉専門学校入学）
 5月 複合型サービスすこやかの家業平 廃止 ※6 月に健和会に譲渡
 すみれ訪問看護ステーション 廃止 ※6 月に健和会に譲渡
 介護相談室やなぎしま：居宅介護支援 廃止
 6月 すこやか福祉会 20 周年記念誌「創立 20 年の軌跡」発行
 7月 すこやか福祉会 20 周年記念講演・祝賀会（テクノプラザかつしか）
 すこやか福祉会 20 周年記念誌「子育て応援ブックレット-たからもの」発行
 9月 複合施設 T P G ケアテラスよまき 開設（三郷市鷹野）
 小規模多機能サービス馬渡さん家 移転
 ファミリーケア戸ヶ崎：訪問介護 移転・名称変更：ファミリーケアたかの
- 2019年**
 2月 グループリビングよりみちの家 廃止 ※3 月に保健医療福祉協同組合に譲渡
 3月 ファミリーケアあおと立石営業所：訪問介護 廃止
 ※翌月、ファミリーケアあおとに統合
 4月 ファミリーケアあおと：訪問介護 移転（葛飾区青戸）
 4月 昨年度に引き続き介護職員学業保障制度実施
 : 3 名入職（千住介護福祉専門学校入学）
 4月 ファミリーケア新小岩：訪問介護 廃止 ※翌月、ファミリーケア船堀に統合
 5月 ファミリーケア葛西：訪問介護 移転・名称変更：ファミリーケア船堀
 （江戸川区東小松川）
- 2020年**
 6月 かばらデイサービスセンター：通所介護 廃止
- 2021年**
 3月 ファミリーケアみたて芝営業所：訪問介護 廃止
 ※翌月、ファミリーケアみたてに統合